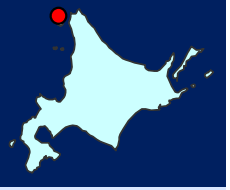
第4種 礼文西漁港
（北海道礼文町）

礼文地域マリンビジョン策定

礼文西（れぶんにし）地区特定漁港漁場整備事業計画

利尻礼文圏域
生産拠点



現状と課題

・荒天時の港内静穏度不足や強風による係留漁船の船体動揺等が生じており、漁場からの避難要請に応えられず、遠方の港湾や漁港の利用を余儀なくされている。
・離島特有の強風や降雪等により、過酷な環境下での作業を強いられており、漁業活動の効率化及び就労環境の改善に配慮した施設整備が求められている。

港　勢　（R5港勢調査）

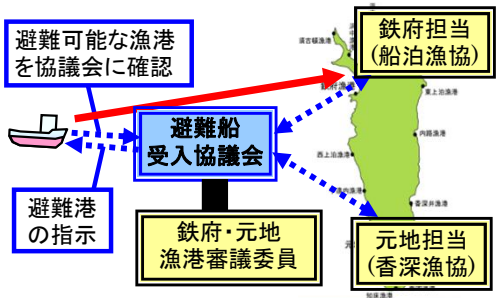
登録漁船：85隻
利用漁船：152隻
（内、外来漁船：93隻）
属地陸揚量：2，759トン
属地陸揚金額：8．1億円
主な魚種：ホッケ、マダラ
組合員数：39人

◎礼文西漁港の役割

・周辺に武蔵堆等の好漁場を有する漁業前進基地
・イカ釣り等の外来漁船の避難拠点

主　要　対　策

避難船の受入れのためのソフト対策
（避難船受入協議会の役割）



主な整備方針

・「避難船受入協議会」の避難誘導によって、効率的な利用を図る上で、荒天時にも安全な漁港利用が可能となるよう、港内静穏度の向上を図る防波堤や強風対策を図る防風柵等の整備を行う。また、漁船の機関故障等、緊急的な避難利用にも対応可能な漁船上架施設の整備を行う。
・コンブ養殖作業の効率化と就労環境改善を図る船揚場の整備を行うとともに、陸揚げ・荷さばき作業時の就労環境改善を図る屋根付き岸壁の整備を行う。

基本事項

全体事業費：81．3億円
事業期間：H19～R9

主要な対策①：避難機能の向上

越波状況(元地)

荒天時にも安全に避難可能な水域を確保

主要な対策②：就労環境改善

屋根付き岸壁整備による就労環境の改善（イメージ）